陽のあたる坂道（1975）

メディア 映画
ジャンル 青春　ドラマ
製作国　日本
色彩　Color
時間　116分
初公開日 1975/11/01
公開情報 東宝

【解説】
　石坂洋次郎の同名小説を、池田一朗が脚色し吉松安弘が監督。撮影を上田正治、美術を村木忍がそれぞれ担当した。1958年版、1967年版に続いて三回目の映画化。
　女子大生の倉本たか子は、田代家の娘くみ子の家庭教師となった。くみ子は幼いころに負った怪我が原因で、足が不自由だった。兄の雄吉は秀才でエゴイスト、弟の信次は画家志望で自由奔放。信次は自分が芸者の子供だと知り、たか子のアパートの隣に住む高木トミ子に会いに行く。彼女こそ信次の実の母だったのだ。しかしトミ子の息子である民夫は、突然自分の兄だと名乗る信次を追い出してしまう。やがて河原で再会した二人は、殴り合いの喧嘩を始めるのだったが…。

【クレジット】
監督　吉松安弘
製作　田中収
　　津島平吉
企画　東宝企画
原作　石坂洋次郎　「陽のあたる坂道」
脚本　池田一朗
撮影　上田正治
美術　村木忍
編集　黒岩義民
音楽　小野崎孝輔
助監督　山下賢章
出演　三浦友和
　　檀ふみ
　　浅田美代子
　　池部良
　　新珠三千代
　　松崎登
　　山本伸吾

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.